

岐阜県理学療法士会 岐阜支部学術研修会 開催報告

日時：2019年2月2日 土曜日 13時～16時10分（受付13時30分開始）

場所：岐阜大学医学部附属病院 医学部記念会館

参加人数：受講者38名 スタッフ8名

講師：矢野 大仁先生（岐阜大学医学部脳神経外科 臨床教授）

テーマ：「パーキンソン病に対する脳深部刺激治療」

講師：榎本 由貴子先生（岐阜大学医学部脳神経外科 講師）

テーマ：「脳卒中治療の最前線」

今回の研修会は脳外科に焦点を絞り、2名の医師に講義をしていただきました。参加人数は前年の半分以下と少なかったですが、講義の内容がすばらしく、受講された方にとっては有意義な半日となったと大変満足しております。

内容ですが、1つ目の矢野先生の講義では、パーキンソン病の対してのDBS治療を中心は中心でした。まず、DBS治療とはこういった外科的手術なのか、またDBS治療の適応患者や治療効果、合併症など動画やグラフを使用しとても分かりやすく講義していただきました。また、症例を何例かあげて、術前と術後の差を動画などで説明していただけて、とても分かりやすい講義でありました。

2つ目の榎本先生の講義では、基礎の脳卒中とは・・・から始まり、最新の血管内治療やtPA療法の最新情報など、とても幅広く講義していただきました。とくに、最新の血管内治療については、実際に治療しているところの動画を見せていただけて、とても分かりやすく説明していただきました。また、急患が救急車で搬送されてからの救命センターでの様子や、他部門との連携をしている現場の実際の動画を見せていただき、とてもいい経験ができたと感じました。

